

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		更生保護事業費 [更生保護事業]									
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 1	社会福祉総務費	事業番号	13			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	福祉推進 課 庶務 係					課長名	山田 茂人				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 6				
【施策名】 地域福祉の推進						総合計画書(ページ)	65				
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 保護司及び保護司会並びに更生保護女性会				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 保護司会・更生保護女性会活動出席延べ人数 【参照】 ・北多摩西地区保護司会東大和分区定期総会議案書 ・北多摩西地区更生保護女性会東大和分区総会資料						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 保護司及び保護司会並びに更生保護女性会の活動は、犯罪をした者及び非行のある少年の改善更生を助けるとともに、犯罪を予防し、地域社会の安全及び住民福祉の向上に寄与するものであるため、その活動に対して必要な協力をする。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 保護司会・更生保護女性会活動出席人数/保護司会・更生保護女性会 会員数						
	③ そのために何をしましたか。 保護司及び保護司会並びに更生保護女性会の活動に対して必要な支援をする。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 保護司会・更生保護女性会活動回数(総会・理事会・研修会・更生保護相談) 【参照】 ・北多摩西地区保護司会東大和分区定期総会議案書 ・北多摩西地区更生保護女性会東大和分区総会資料						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標		
	対象指標	①の数值	人	688	120	160					
	成果指標	②の数值	回	3.5	0.7	0.9					
	目 標	②の目標値	%	100	100	100					
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 会員一人当たりの平均活動回数の割合											
3 経費	事業費(実績)		円	991,228	783,956	797,170		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	991,228	783,956	797,170					
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2					
		所要人数(再任用)	人	0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	1,662,000	1,676,000	1,650,000					
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0						
事業費+人件費		円	2,653,228	2,459,956	2,447,170						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和25 年度								
	(2) 環境の変化 裁判員制度をはじめとする司法制度改革が進められており、保護司としても研修等を通じて制度の理解を深めていく必要がある。										

事業名称	更生保護事業費 [更生保護事業]			
担当部署・課長名	福祉推進	課	庶務	係 課長名 山田 茂人

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	特になし	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	特になし	
	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 保護司会より、保護観察等の実施に伴う相談室の確保について要望があった。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 試行的に会議棟会議室の一部を相談室として令和3年2月より使用	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 保護観察等の相談室確保により、保護司のなりて不足の解消につなげたい	
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 地域福祉の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 現状を維持する。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 現状を維持する中で、事務の簡略化等、改善を図る。	